



保護者学習会を開催しました(11月27日)

〈物井明子先生の講演とフリートーク〉

今年度2回目の保護者行事として、すてっぶとしては初めて外部の講師を招いて学習会をおこないました。講師はNPO こめっこ代表理事で奈良県立ろう学校のスクールカウンセラーでもある物井明子（ものいあきこ）先生です。テーマは「聴覚障害児のコミュニケーションと自己認識の形成」でした。

聴覚障害の当事者である物井先生の、小さい頃から成人期にいたるまでの自己認識の



変遷を縦軸に、さまざまな経歴を経て今にいたる中で感じてきたことを織り交ぜ、子どもたちに今伝えたいことや保護者の方に伝えたいことを非常にわかりやすくお話していただきました。とくに〈聴力の重い、軽いにかかわらず、聴覚障害があるということは、どの子も聞こえる人と同じように聞こえているわけではないことを理解する必要がある〉というお話は説得力がありました。後半のフリートークでは、参加者が少人数だったのでかえって一人一人の保護者の方が率直に話をしていただけたので、より深いところまで共感しあえる話ができたと感じます。参加された保護者の中の一部の方の感想を紹介します。

学校の講演会には参加できなかったのですが、少人数でゆっくりと話を聞くことができて良かったです。「聞こえる＝分かる」ではないことなど、改めて気をつけようと思ったり、思春期の話など聞けて良かったです。

難聴児の親として、きこえることはイコールわかることではない、という意識は持っているつもりですが、どこかで「人工内耳をつけてるから少しはきこえているだろう、だからわかってくれるだろう」と思うってしまうこともあります。きこえているから分かるわけではないという認識が、難聴者と聴者ともに同じでなければならない、という話が強く印象に残りました。人工内耳をつけていても自分と同じようにきこえることはないと思うと、やるせない気持ちになりますが、だからこそ寄り添ってあげないといけないと思いました。周りの人は人工内耳をつけている息子をみると「今はきこえているんだよね」とよく言います。それはちがうということを理解してもらえよう、難聴児の子育てに対してもっと真摯に向き合っていきたいと思います。

はじめて電車でお出かけ〈活動の様子を紹介〉11月24日



この日はろう学校の全校参観日の振り替え休業で午前から開所し時間があったので、すてっぷの活動としては初めて、電車でのお出かけをしました。歩いて筒井駅まで行き、電車で2駅のファミリー公園前駅でおりて、まほろば健康パークでお弁当を食べたり遊具で遊んだりしました。小学生は自分で切符を買う体験もしました。うれしすぎて切符をひらひら持っていて風にとばされてなくす、という事件もありましたが、駅員さんに事情を説明して

無事改札を通してもらえました。これもいい経験になったことでしょう。

すてっぷを利用して (保護者の感想より)



今年度からすてっぷを利用されている保護者の中で何人かの方に利用の感想を書いていただきましたので紹介します。

はじめから嫌がることも殆どなく、元気に通ってくれています。自分たち（親、家族）だけでは成長していってもらうには限界なことも多く、本人のために指導して下さることが本当にありがたいです。

ハンディがある（普段からずっとそう思っているわけではないのですが…）分、私が「できないことが多い」という目で子供を見てしまっている所があると思うので、毎日色々なことに挑戦させてもらい、成長させてもらえることに感謝です。

帰りに熟睡して帰ってくるのが、楽しめている証拠だと思っています。これからもよろしくお願いします。

すてっぷさんではスーパーで買い物をしたり、お友達とマクドナルドへ外食に行ったりと、普段させてあげたくてもできなかった経験をたくさんさせていただいて、とてもありがたく思っています。活動場所も図書館や体育館、公園など様々な場所に連れていってくださるし、年上や年下の子供達と交流できるので、とてもよい刺激になるなと思います。

帰りの車の中でもお友達との会話を楽しんでいるようですし、充実した時間を過ごさせていっただいて、本当に感謝しています。

年上の子どもたちと一緒に過ごす時間のおかげで、4月と比べると思いやりの心が育まれてきたなと思います。また手話にたくさん触れることによって、意思表示が増え、コミュニケーションがとりやすくなってきました。

集団での活動に気分が乗らないときは強制するのではなく、本人の気持ちに寄り添っていただけなので、無理なく楽しく通えています。いつもありがとうございます。